

# 多高通信

第136号 平成28年11月24日発行



さどく ゆたかに たくましく  
宮城県多賀城高等学校

## ASEANの大学院生が 本校を訪問しました!

10月21日、首都圏在住のASEAN各国の国費留学大学院生23名が本校を訪れ、災害からの復興の様子やアジアでも多発している災害に備えた防災教育を視察しました。

本校では、「くらしと安全A」の授業に参加していただき、1年生と一緒に災害時の洗濯についての実験に取り組みました。ジッパーで密封できるポリエチレン袋に少量の水や洗剤、あるいは重曹を入れ手もみ洗浄を行うものです。災害時には貴重な水をどのように有効活用するかを、生徒と一緒に学習してもらいました。



まちあるきの様子



くらしと安全Aの授業体験

放課後は本校の「まちあるき」を体験してもらいました。都市型津波の実験について、大学院生の皆さんへ生徒から説明をし、このような啓発活動の重要性や、留学生の母国での「いつたえ」などについても意見交換ができました。

## イオン多賀城店企画

### 『震災復興5年間のあゆみ』

10月20日から23日の4日間、イオン多賀城店における企画において、「多賀城市の震災復興のあゆみ」、「キリンビール仙台工場復興の軌跡」とともに本校の防災・減災活動が紹介されました。

本校のパネル展示



本校の波高表示活動やまち歩き、被災地案内ボランティアの様子を伝えた展示パネルの前には、多くの市民の方々が足を止めてくださいました。地域の方々に私たちの活動を理解してもらうことは、大震災の伝承と新たな震災への備えにつながります。今後も地域の方々に御理解・御協力をいただきながら、防災・減災活動を進めていきたいと思っております。

## 社会と災害 特別授業 段ボールジオラマ

10月20日、「社会と災害」の授業において、段ボールの地形模型「段ボールジオラマ」を用いた授業を行いました。

配付された地形図に尾根と谷を書き込み、段ボールジオラマに尾根の部分、谷の部分の目印となる紐を貼り付け、それをもとに、起こりうる災害種や危険地帯についての話し合いを行いました。最後に近隣市町のハザードマップと自分たちが指摘した危険地域の関係や避難場所・避難所の位置について確認する作業を行いました。平面地図からは分かりにくい地形や危険箇所を直感的に理解することができ、今後も学校周辺の地形の理解などに活用していきたいと思っております。

なお、今回の授業は、段ボールジオラマの製作に携わる、一般社団法人防災ジオラマ推進ネットワーク、今野梱包株式会社や株式会社ゼンリンの方々に見学していただき、アドバイスをいただきました。



## 平成28年度 生徒会役員委嘱式

10月25日、平成28年度生徒会役員委嘱式が行われました。

10月20日の生徒会役員選挙により選ばれた役員たちが、校長先生から委嘱状をいただき



ました。本校の生徒会執行部は通常の生徒会活動に加えて、防災活動やボランティア、総合文化祭等の様々な場面で活躍しています。その活動の中心としてリーダーシップを発揮してくれることを期待しています。

今回、委嘱された役員は次のとおりです。

- 会長 木村 千恵(2年)
- 副会長 金原 龍飛(2年) 高橋 里奈(2年)
- 会計 小松 愛佳(2年) 齋藤 江里佳(2年)

## ■生徒会長 2年4組 木村千恵(玉川中出身)

この度生徒会長になりました木村千恵です。私たち生徒会執行部は、10月に新体制がスタートしました。今年度は新たに災害科学科が設立され、私たち生徒会も防災関連の取り組みとして全国の高校生や外国の方々と交流など、「防災」を通して多くのことを学んできました。今後は防災関連の取り組みばかりでなく、もっと生徒一人一人の普段の学校生活に密接にかかわることのできるような活動を行いたいと考えており、そのスタートとして、目安箱の設置を行います。日頃の学校生活での要望等をぜひ投函してください。お待ちしております。

最後に、普通科の皆さん、注目されている災害科学科の勢いに負けないよう、多賀城高校を活発で魅力的なものにしていきましょう！

## JAXA連携授業

10月28日、ALOS2(だいち2号)衛星画像の教育目的利用の共同研究を行っている宇宙航空研究開発機構(JAXA)から永井裕人研究開発員を迎え、連携授業を行いました。9月のつくば研修で人工衛星の画像処理についての研修を受けており、今回は衛星画像を用いることで、どんなことがわかるのか、できるのか、という話を中心に授業が展開されました。



授業では生徒自身の課題研究のテーマと結びつけた話や、GIS(Geographic Information System: 地理情報システム)を用いた災害対策についての話がありました。災害に襲われやすい地形の把握や過去の災害などを重ね合わせることで、様々な情報の関連性が一目でわかるようになります。このよう

な操作により、これまでは想像できなかった新しい情報を知ることができるようになることを学習しました。

今後は、東北地区や宮城県の人工衛星の画像の提供をJAXAから受けることで、防災・減災の学習に役立てていきたいと思っております。

## 復興 i-Land in SENDAI

10月30日、仙台市勾当台公園で、被災地の防災と環境保全をテーマにした「復興アイランドイン仙台」に防災委員とボランティアが参加しました。この催しは、第3回国連世界防災会議で採択された「仙台防災枠組2015-2030」に示された市民の防災・災害対策の一部と位置づけられています。大学、NPO、自治体、病院、消防、自衛隊と幅広い団体が参加しており、遠くは熊本、静岡、愛知などからの参加もあり、各地で行われている防災活動が紹介されました。



本校は防災委員が中心となりブースとステージで学習活動について紹介するとともに、ボランティアでは東北大学災害科学国際研究所が企画したスタンプリーの受付を担当しました。

様々な防災についての取り組みが行われていることや復興についての工夫を知ることができた一日となりました。

## 柔道部 新人戦大活躍!

10月28日から30日の3日間で開催された柔道の県新人大会において、1年生の佐藤美羽が女子個人70kg級で第2位、2年生の長谷りりこ、1年生の長谷まりんが女子個人78kg超級で第3位に入賞しました。

## ■1年7組 佐藤美羽(多賀城中出身)

今回の新人戦では決勝で勝つことはできませんでしたが、中学生の時からずっと憧れていた方と試合ができたことが嬉しく、負けはしたものの、戦うことの楽しさ、柔道の素晴らしさをもう一度思い出すことができました。これからも、どんな相手との試合でも相手への感謝の気持ちを忘れず日々の練習に取り組み、そして、また戦う機会があれば次こそは勝ちたいです。